留学に関する Q&A 内田 野原

Q1 自己紹介、留学時期、留学先、勉強内容

福井県立大学海洋生物学部の、内田野原と申します。

留学時期は、2018年8月～2019年5月(約10ヶ月)。

留学先は、アメリカ合衆国オハイオ州の「フィンドレー大学」。

勉強内容は主に、前半は「英語」後半は「生物」を学んだ。

Q2 履修科目、科目数

履修科目は、英語、プレゼンテーション、ディスカッション（映画を見てディスカッション）、生物学、化学、生物実験、コンピューターサイエンスなど。

履修科目数は、16科目（4つはドロップ（アメリカの大学では、履修お試しが可能））。

Q3 留学の志望動機

英語が喋れたらなんとなくカッコイイと思っていたから。

留学をしながら常に変化し、途中からは「将来、グローバルを舞台に働くため」になる。

Q4 留学を準備し始めた時期

大学1年度に行った「シンガポール研修」終了後から

（自分のレベルと、到達したいレベルが可視化されたので始めやすい）

Q5 留学準備で大切なこと/県大内で準備すべきこと

長期留学したい場合は、旅行気分でも良いので「1～2週間の短期留学」をお勧めする。

自分のレベルと、なりたい理想像がわかるので、勉強しやすくなる。

ただ、県大の場合はワールドカフェという「タダで英語を話せる環境」があるので、行ける人は行くべき。

でも、人によってはワールドカフェもレベルが高い（自分は、なんとなく恥ずかしかった）。その場合は、独り言やオンライン英会話で事前準備してから、ワールドカフェに行くと良いと思う。恥ずかしくて出来ないからやらない、ではなくて出来る難易度まで下げて少しずつ進むべき。

Q6 留学費用はいくらかかったか。出発までの準備費用と留学中の費用

150万円程度（120万：学食や寮の費用、15万：交通費、10万：外食やお土産代、残り：ビザ申請や事前の英語学習費）。（交換留学のため、フィンドレー大学の授業料約250万円は免除されるが県立大学の授業料は支払う必要があります。）。

Q7 準備する上で障害だったこと、どうやって乗り越えたか

「自分の留学をどのようにデザインするか」が大変だった。（県大には色々なプログラムがあるので、正攻法はない）。

相談して乗り越えた。国際留学支援課の方々や留学経験者に相談に乗ってもらい乗り越えた。留学は、お金から何から1人では難しい。「肝心の勉強」に力が注げるようにどんどん周りを頼るべき。

Q8 留学が始まってから大変だったこと

環境に慣れること。

Q9 日本の大学との違い、どんな刺激を受けたか

日々の勉強量が圧倒的に多い。（やらないと授業についていけない環境）

年齢や学年、国籍が全く関係ない（意識することがなかった）

イベントが多い（週に1回以上はイベントがある。教会もあり、集会も行われる）

個人的に1番刺激を受けたのは、超がつくほど勤勉な中国人やインドの生徒たち。英語ができる前提で、人生かけて勉強しているので、熱量が半端ない。（飛び火します笑）

Q10 交友関係はどうだったか

交友関係は、自ずと広がる。（クラスのみならず、ルームメイトや各イベントで新しい人に会えるので）

深さで言うと、日本語学部のアメリカ人とは日本語と英語を教え合うようになるので、深くなりやすい。

日本人留学生とも仲良くなるが、県大にはない学部（工学部や国際学部など）の生徒に会える。（他学部の生徒の話聞くチャンスは貴重だと思う）

Q11 もう一度留学をやり直せるならどのようにしたいか

もしやり直せるなら、正規の留学（4年）にチャレンジしたい。
正規の留学（4年間）でないのなら、同じようにやりたい。

【自分の留学プロセス】

大学1年：シンガポール研修、大学2年：セブ短期留学、大学3年：フィンドレー交換留学

【指標(TOEIC)】

シンガポール研修前：420、フィンドレー交換留学後：890

Q12 就職活動で留学経験をどう活かしたいか/活かしたか

他の就活生と差別化するために使った。

- 1、英語力。書類審査のとき、資格の点数と留学経験（客観的事実）があると強い。
- 2、留学生だけが参加できる就活フォーラムに参加できる。
（詳しくはCFN <https://careerforum.net/ja/>で検索）
- 3、話のネタになる。（グローバル企業の採用担当は、海外経験者が多い）

Q13 留学したい学生達にメッセージ

少しでも留学に興味があるなら、短期留学からでもトライしてみてください。（10万円程度で行けます）

自分は留学開始時、TOEIC420点しかなく、話すのが得意ではありませんでしたがチャレンジしました。理由は、ただ英語が喋れたらイケてると思ったからです。

もし同じ様に思っていたら、きっと留学の何処かに魅力を感じているはずです。

その「なんとなく惹かれる」と言う自分の根底にある気持ちを大事にして下さい。

世界のリーダーであるアメリカ、中国、インドの方々は日々すごい勢いで進んでいます。

英語が得意ではないとか、コミュニケーションが苦手とかを考えている暇はありません。

もし、あなたが将来グローバルを視野に考えているのであれば、留学して後悔はしないです。

まずは、国際・留学支援課へのメールの1通や、親に相談してみるなど小さな一歩から始まります。大学生という、人生で1番留学しやすい時期に決断するかしないかは、今のあなたの決断次第です。